



2026年4月

町田市全域 容器包装プラスチック分別がスタート

2024年度 町田市町内会・自治会連合会役員研修会

2024年度の役員研修会として、リレーセンターみなみ、バイオエネルギーセンターを視察しました。

リレーセンターみなみは、JR横浜線より南の地域で収集した燃やせるごみの積み替え中継施設として1985年から稼働しています。また、2016年からは南地区の容器包装プラスチックの分別収集開始に伴い、資源化施設として限られたスペースを効率的に運用し町田市のごみ資源化を支えています。

町田市バイオエネルギーセンターは、2022年1月に稼働開始しました。生ごみのバイオガス化施設とごみ焼却施設を一体的に整備した首都圏初の施設です。

火災防止には、一人ひとりが正しいごみの出し方を知ることが大切です。研修会では、リチウムイオン電池が燃えないゴミへ混入されていたのが、近年では「燃えるゴミへの混入」も見られるとの事でした。



さて、2026年4月からは町田市全域で「容器包装プラスチック分別」がスタートします。その特徴は・・・



しかし、2023年11月にバイオガス化施設内で火災が発生しました。バイオエネルギーセンターでは、施設稼働後に大きな火災が4回、ごみ収集車でこれまでに多くの火災が発生しています。

火災によって、ごみ収集・処理の中断によって市民生活に甚大な影響を及ぼす恐れがあると共に、ごみ収集・処理に携わる方々が命の危険にさらされます。また、燃えた設備の修復等に多額の費用を要します。

<指定収集袋は半額>

容器包装プラスチックの指定収集袋は燃やせるゴミ・燃やせないゴミの半額です。

<収集日が増えます>

燃やせるゴミの収集は……………毎週2回
燃やせないゴミの収集は……………隔週1回
容器包装プラスチックの収集は毎週1回
全体として収集日が増えます。

<SDGsに貢献>

子ども達により良い世界を引き継ぐために
ゴミ分別で「SDGs」に貢献することが出来ます。

(編集委員 熊坂恵司)